

2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	選択問題

哲学を専攻する者は、以下から、1 題を選んで答えなさい。なお、選んだ問題の記号を最初に記すこと。

- A) 「われわれのあらゆる認識が対象に従わねばならない」 (alle unsere Erkenntnis müsse sich nach den Gegenständen richten) のではなく、「対象がわれわれの認識に従わねばならない」 (die Gegenstände müssen sich nach unserem Erkenntnis richten) という命題について、あなたの解釈を示したうえで、その哲学的意義を論じなさい。
- B) 「人間性を、汝の人格においても、また他のすべての人格においても、つねに同時に目的として扱い、決して単に手段としてのみ用いないように、行為せよ」 (Handle so, dass du die Menschheit, sowohl in deiner Person, als in der Person eines jeden andern, jederzeit zugleich als Zweck, niemals bloß als Mittel brauchst.) という命題について、あなたの解釈を示したうえで、その哲学的意義を論じなさい。
- C) 「趣味判断を規定する快は、いかなる利害関心をも伴わない」 (Das Wohlgefallen, welches das Geschmacksurteil bestimmt, ist ohne alles Interesse.) という命題について、あなたの解釈を示したうえで、その哲学的意義を論じなさい。
- D) 「私は、信仰のための場所を確保するために、知を制限しなければならなかった」 (Ich mußte also das Wissen aufheben, um zum Glauben Platz zu bekommen.) という命題について、あなたの解釈を示したうえで、その哲学的意義を論じなさい。

歴史を専攻する者は、以下から 1 問を選んで論述しなさい。なお、選んだ問題の記号を最初に記すこと。

- A) 19世紀における列強の対外関与や帝国の拡張についての歴史叙述では、被支配地域や周縁諸国の行動はどのように描かれるべきか。「支配／被支配」「中心／周縁」といった枠組を用いる際の利点と限界について、あなたの専門的関心に応じて論じなさい。
- B) 歴史学において「比較」は有効な分析手法とされるが、単純な並列には注意が必要である。比較史の方法の意義と課題について、具体的な時代や地域を想定しつつ論じなさい。

解答または解答例：
Sample Answer(s) or Outline:

出題意図：
purpose of Questions：

【哲学】

＜出題の意図＞

カント哲学の代表的な命題を素材として、哲学的テキストを正確に読解し、そこに含まれる論点を自ら抽出・整理したうえで、その哲学的意義を筋道立てて論述する能力を問う。

＜採点のポイント＞

- ①使用する概念を正確に理解しているか。
- ②論述に論理的な一貫性が認められるか。
- ③自らの見解を、根拠を示しながら明快に提示しているか。

【歴史学】

＜出題の意図＞

歴史学における主要な歴史事象にみられる因果関係や歴史的意義について、理論的背景と具体的事例の双方を踏まえながら、論理的に提示する能力を十分に備えているかを判定する。

＜採点のポイント＞

- ① 設問で示されている問題の主要な論点や歴史的背景について十分な理解が示されているか。
- ② 因果関係や歴史的意義が明確に示され、論旨が一貫した構成となっているか。